

11

樹脂系溶剤形接着剤

酢酸ビニルや塩化ビニル等の熱可塑性樹脂を有機溶剤に溶解した接着剤で、主に多孔質材料や塩化ビニル等の接着に使用されます。また、熱再活性接着が可能な製品もあります。ただし、有機溶剤を使用しているので取り扱いには十分な注意が必要です。

【樹脂系溶剤形接着剤一覧表】

系 統	品 名	容量規格	用 途	特 性	色・状態	不揮発分 (%)	粘度 (mPa・s/23℃)	VOC等級
塩化ビニル	201F	180mL 3kg	軟質塩ビ同士	乾燥皮膜がたわみ性を持ち耐可塑性性も良い	淡黄色透明溶液	33.0	2,200	
	210F (ニトリル変性)	180mL 3kg	軟質塩ビと異種材料	乾燥皮膜がたわみ性を持ち耐可塑性性も良い	淡黄白色溶液	32.0	2,600	JIS A5549 F☆☆☆ JAIA 4VOC基準適合
ニトロセルロース	321	180mL 1kg	木、紙、布、皮革、陶器、セルロイド	速乾、透明	無色透明溶液	28.0	10,500	

ONE POINT

ワンポイントアドバイス

【ドープセメント】 塩化ビニルやアクリル樹脂同士の接着には、同系統の樹脂を溶剤に溶かしたドープセメントを使用することにより仕上がりのきれいな接着ができます。

12

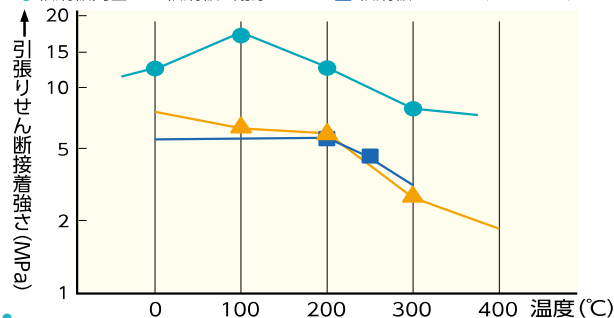
フェノール樹脂系構造用接着剤

特 長

- 1 高温時の接着強さが大きく、耐熱老化性に優れる。
- 2 衝撃、曲げ、振動に強く、熱および荷重の繰返しに耐え、接着強さの低下が少ない。
- 3 流動性が良く、乾燥が速い。
- 4 耐水性、耐油性、耐溶剤性、耐薬品性に優れる。

●フェノール系構造用接着剤 (110)

●軟鋼板同士 ▲軟鋼板×耐摩レジン ■軟鋼板×ブレーキライニング



用 途

- 自動車、オートバイ、車両、建設機械などのブレーキライニングおよびクラッチフェーシングの接着
- 耐熱性を必要とする金属やセラミックの接着

【フェノール樹脂系構造用接着剤 一覧表】

品 名	110※	CS2711
特 性	低粘度	耐熱老化性
変性成分	エポキシ	ニトリルゴム
外 観	淡褐色低粘度液	黒色ペースト
粘度 (mPa・s/23℃)	220	15,000
不揮発分 (%)	53	44
密度 (g/cm³)	1.00	0.98
硬化条件	室温3時間放置 (強制乾燥60℃×30分) 180℃×20分 (圧縮0.98MPa)	室温3時間放置 200℃×30分 (圧縮0.98MPa)
希釈溶剤	MEK	ブタノール/MEK
容量規格	1kg 15kg	17kg

※医薬用外劇物

ONE POINT

接着方法

- 被着材の表面処理を十分に行った後、接着剤を両面に塗布し、30分以上放置して完全に溶剤を揮散させてください。乾燥後両面を合わせ0.98MPa以上の圧力で圧縮しながら所定の硬化温度で加熱して接着します。ブレーキライニング等の接着には熟練と設備が必要です。(110の場合)